

二中学区地域の輪をつくる会

3つの誓い

- ふれあいの輪を 広げましょう。
- あいさつを かわしましょう。
- 明るい家庭生活を 築きましょう。

vol.90

ふくわ

●発行 二中学区地域の輪をつくる会 ●編集 広報委員会 ●事務局 市毛コミュニティセンター内・ひたちなか市市毛980・TEL.029(272)3766 ●印刷 弘美印刷(株)

台風19号がもたらした惨禍

残念ながら、今回の第25回二中地区秋季大運動会は取りやめとなりました。
今回は、台風19号が二中地区にもたらした爪痕について、掲載いたします。



枝川地区の浸水状況



枝川地区の浸水状況



支流・早戸川より越水状況

災害ボランティア活動

二中学区地域の輪をつくる会

◆台風19号による水害

全国で甚大な被害をもたらした台風19号は、10月12日に関東地方にも上陸。栃木県地方も記録的な大雨となり下流の茨城県那珂川も急激に増水し、避難指示が出されました。那珂川沿いにある枝川地区では、13日早朝から那珂川が増水し、支流の早戸川への逆流により水が溢れ、地域内が広範囲にわたり浸水する「想定外」の洪水が発生しました。

同地区には500世帯余りの家屋があります。床上や床下浸水を含めると、302棟が甚大な被害を受けました。夕方に水は引きましたが、被災した家屋では、泥水に浸かった畳や家具など、多くの被害を被りました。

枝川自治会では役員による浸水状況や、避難者の確認など住民の安否確認を行いました。幸い人的被害はありませんでした。被害を受けた住民からは、片付けや清掃を行い早く元の生活に戻りたい、との要望が沢山寄せられ、市との連絡調整を行い、対応に当たりました。

◆災害ごみの搬出作業

今回の台風災害に対して、『二中学区地域の輪をつくる会』は、各自治会や専門部会にお集まりをいただき、被災者宅の災害ごみの搬出作業の支援をお願いするため、15日の早朝から「災害ボランティア」を結成。軽トラックを持ち寄り、50名が枝川転作推進センターに集まりました。センターを拠点とし出動要請が入り次第、被災者宅に伺い、後片付けなどの手伝いや、大量の災害ごみを「仮置き場」に運搬する作業を行いました。

数多くの被災者宅での支援作業の中で、「畳」などの搬出要請も多くありました。一人暮らしの方からも、民生委員を通じて要請があり、逐次軽トラを投入し、機敏な搬出をしました。

被災された皆さんからは、「人手が足りないのです、本当に助かりました。皆さんに気に掛けていただき、ありがとうございます。また、感謝のお言葉をいただきました。」

災害ごみの搬出は、21日まで行いましたが、「市のお助け隊」や「保健師・民生委員・社会福祉協議会」など毎日大勢のボランティア団体の方々による支援により、迅速な復旧作業ができました。

今回の復興に向けた活動は、「二中地区」の日頃の交流や連携で「支え合い」の気持ちで支援体制ができたと感じています。今後も地域一体となって、諸活動に取り組んで行くことが必要であることを再認識しました。

復興支援への御礼

枝川自治会長・近藤清一

この度水害では、多くの方からご支援ご心配をいただき厚くお礼申し上げます。また、災害ごみの片付けに多くのボランティア団体の協力を得て、災害ごみの運搬をしていただきました。

お陰様で以前の生活を取り戻すまで、あと一歩と言ったところで復興いたしました。

二中学区地域の輪をつくる会をはじめ、手厚い支援を受けた住民から感謝の言葉が自治会へ寄せられております。

改めて皆様のご支援ご協力に対し、何とお礼申し上げて良いやら、ただただ感謝です。誠にありがとうございました。



災害ごみ・仮置き場の状況



災害ごみの収集・運搬



輪をつくる会ボランティアの皆さん



津田五自治会 8・4日



子供会の盆踊り

市毛南北自治会 7・27日



さあ、ボクたちの出番です!

堀口自治会 7・27日



堀口会館から山車が出発

武田自治会 8・3日



うまく釣れるかな

武田自治会 8・3日



皆で踊れば楽しい! パブリカ

勝田本町自治会 8・3日



太鼓たたいて出発だ!

実践部会 活動報告

江戸の文化を楽しんで

文化部会

6月30日(日)栃木県那珂川町の馬頭広重美術館において研修会を実施しました。雨模様の中、新国立競技場設計者、隈研吾氏の木材を多用した建物の中に足を進め、個人収集コレクションの一部を展示しているとの解説の中、時代背景と気づかない描写に感動するばかりで、江戸時代の雰囲気を楽しみながら美術館を後にしました。午後は晴天に変わり、黒羽城址公園あじさいまつりを訪れました。暑さの中、紫陽花を觀賞し研修会を終了しました。



広重美術館入口にて集合写真

エコフロンティアかさま見学

環境部会

平成17年開業の廃棄物最終処分場です。廃棄物の処理に心のあ一般参加者を含め21名の研修でした。



溶融処理施設前で集合写真



溶融処理施設棟内で

熱心な研修態度で予定時間を超えて研修を行いました。現在14年経過で処理能力が63%に達しており、今のままの処理を続けることができなくなる恐れがあります。新設が必要と判断されています。

志田市毛交番所長の講話

安全福祉部会

6月29日(土)第一回安全福祉部会を市毛コミセンにて開催しました。開催に先立ち、本年3月に市毛交番に赴任された志田文隆交番所長に地域の犯罪発生状況や高齢者による交通事故多発、更に児童事故防止等についてご講話をいただきました。高齢者、若者、子どもが事故なく暮らせる町になるよう願ってやみません。



志田交番長の講話

部会研修I

青少年部会

7月12日(金)市毛交番の志田文隆所長を講師に迎え、『夏休み直前、子どものための交通安全講習会』を市毛コミセンを会場に開催しました。自転車の安全について、①一般的な注意点②事故を起こした時の賠償に備えた保険加入の重要性③盗難への備えや対応のほかに、地域における犯罪の現状など、子どもを見守る大人向けに解説をいただきました。有意義な時間となりました。



子どものための交通安全講習会

今年度の活動内容紹介

体育部会

令和元年度の事業活動は、6月にバレーボール・ソフトボール・高齢者レク大会の3事業が予定通り開催されました。今年度は「茨城いきいきゆめ国体」が開催され、部会員の中からもボランティアに参加をしております。



高齢者レクリエーション

お月見会の開催

ワイワイふれあい館

9月15日(日)午後4時より館庭において市長ほか多数の来賓をお招きし、地域の方々、館運営関係者など、約120名余りのご参加をいただき、お月見会が開催されました。利用団体による芸能発表と昨年に続き津田ドレミファバンドの皆様に協力をいただき、生演奏に酔いしれ、参加者同士の間で交流がはかれました。



利用団体(フラダンス)の発表

プチ留学体験

津田コミュニケーションセンター

津田コミュニケーションセンターでは、夏休みの恒例事業として小学生を対象に国際交流を行っています。二回目になる今年は、8月8日(木)に留学生3名の母国をスクリーンで写し、壮大な景色や歴史的建物を観賞。彼らの大好物発表では、会場が笑顔でいっぱいになりました。



笑顔いっぱいの国際交流

地域トピックス

防災体験学習会

津田西山自主防災会

9月21日(土)新防災役員が東京本所防災館で行なわれた防災体験学習会に参加しました。防災映画の後、東日本大震災を思い起こす地震の揺れ体験や、最近多い水害を想定したドアにかかる水圧状況などを体験しました。日頃から自主防災役員として、もしもの時に慌てず沈着に有効な防災活動ができれば、あらゆるあらためて意識した貴重な一日でした。



貴重な防災体験の一日

公共施設訪問研修会

津田東自治会

7月11日(木)組長を主とした23名で、県庁と高速道路交通警察隊を訪問しました。県庁では、当自治会員の二川県議も同行して、県庁の歴史と事業内容を勉強、25階展望ロビーからの景観を満喫した後、議事堂本会議場で議長席や議員席に全員着席し、議会の雰囲気を感じました。高速道路交通警察隊では、電光掲示板で熱烈歓迎を受けた後、高速道路ドライブセミナーの講義と、発煙筒の着火実技指導を受けました。



歓迎電光掲示板をバックに

みんな真剣に自主防災訓練

武田自治会

10月5日(土)武田会館にて、心肺蘇生のための心臓マッサージとAEDの使い方、応急タンカの作り方と使用方法などを学びました。煙中避難訓練では、安全な煙を受けて説明を受けてもらい、実際に火災発生時の対応方法を学びました。

最後に水消火器を使用した消火訓練。盛り沢山の訓練でした。



武田自主防災訓練

防災訓練の実施

勝田本町自治会

8月31日(土)市の防災訓練のサイレンを合図に、一次避難所の勝田本町第二公園に41名が避難し、安否確認などを行い、指定避難所(堀口小学校)への避難誘導訓練を行いました。小学校では、フレキシブルタンクによる水の説明を受けました。

訓練後、自治会館での活発な意見交換により、各自の防災意識向上が見られ、充実した防災訓練でした。



防災訓練

自主防災訓練を実施

市毛北自治会

8月31日(土)市の防災訓練サイレンを合図に勝田二中体育館前に災害対策本部を設置し、150名が参加して避難誘導訓練や水消火器での消火訓練、給水訓練を実施後、体育館内で津波の映像を視聴しました。各人が自然災害の怖さを実感するとともに、日頃から防災意識を持つことの重要性を再認識した良い機会となりました。



消火訓練の様子

高齢者サロン、さくら・桜

堀口自治会

サロンを始めて、今年で一年になります。最初は、参加者が何人程度いるかが心配でしたが、毎回30人から40人が集まります。筋力維持体操や脳トレ、おしゃべりなどで楽しい時間を過ごしています。このサロンの運営に尽力をいただいている保健推進員やお母さん太鼓の皆さんに、感謝です。

開催は、毎月第三土曜日の午前10時から11時30分です。高齢になるにつれ、外出する機会や会話が少なくなる方がいます。是非、サロンに足を運んでみませんか。



いつまでも元気で…筋力維持体操

防災訓練の実施

津田第二自治会

8月31日(土)市の総合防災訓練にあわせて、津田集会所と津田小学校に、約110名が参加し、訓練をしました。参集した自主防災組織員を中心に、各戸のタオル確認、要支援者の安否確認、避難誘導などの訓練をしました。新聞紙でのスリッパ作りなど、避難所での対策も学び、参加者全員が、災害発生時の行動を再確認できました。



津田集会所の第2本部

枝川地区防災訓練を実施

枝川自主防災会

7月7日(日)枝川地区では、那珂川クリーン運動に併せて防災訓練を実施しました。当日は集合場所である河川敷へ、住民が各班毎に避難訓練を兼ねて集合し、100人が参加して訓練をしました。清掃作業後に転作セーターで消防第六分団の指導による「初期消火」などの実技講習も行いました。毎年、過去の水害経験をもちに安否確認や避難誘導などの訓練を行い、防災意識の向上を図っています。



各班毎に避難誘導訓練を実施

初期消火訓練も実施

多種にわたり自主防災訓練

市毛南自治会

8月31日(土)市の防災訓練にあわせて市毛小学校体育館に災害対策本部を設置し、75名が参加して防災訓練を実施しました。住民避難訓練と民生委員による要支援者の安否確認を皮切りに、防災に関するDVD上映、発電機やチェーンソーの運転操作、炊き出し訓練を実施しました。また、市消防職員協力のもとに消火・給水・煙体験などの訓練も行い、各自災害発生時の行動を再確認しました。



中は煙で何も見えない!!

市総合防災訓練を実施

津田第一自治会

8月31日(土)津田コミュニティセンターにおいて、要支援者の救助を想定した「市総合防災訓練」を実施しました。車椅子で移動するとき、通リ慣れている道であっても段差や砂利など、普段感じない障害があり要支援者の方にとって避難することは、想定以上に困難なことであると感じました。災害時、要支援者がスムーズに避難していただくためには道路を舗装するなど、日頃から地域の協力・助け合いが大切であると痛感しました。



車椅子での避難訓練

防災訓練を実施

津田第二自治会

8月31日(土)9時から、コミュニティ広場において、市の総合防災訓練に合わせ実施しました。茨城県沖を震源とする地震発生により、沿岸に大津波警報が発令されたという想定で行われ、身の安全確保と緊急避難場所への避難を主体に実施しました。各組ごとに、避難場所から避難が行われ、地震発生から30分以内に集合ができました。その後、消防第四分団による放水訓練を見学して終了しました。参加者は226人でした。



広場に集合した皆さん

第21回健康づくり歩く会

二中区保健推進員

6月16日(日)健康で楽しく生活することを目指した「歩く会」を、好天のもと各地区より71名の参加者で開催しました。市毛小体育館で、(株)THFの越石由季先生によるウォーキングの効果など健康維持に関する講話を頂きました。ウォーキングの後、出発し、上坪浄水場から津田の鹿島神社など市毛・津田地区ルートを一時間30分かけて楽しく整然と歩きました。健康には歩くことが大切であると実感できた一日でした。



健康づくり歩く会の様子



武田(9/7)



津田東(9/7)



津田第二(9/8)



堀口(9/8)



枝川(9/8)



津田西山(9/15)



市毛南(9/14)



津田第一(9/14)



津田第三(9/16)



市毛北(9/15)



勝田本町(9/15)

自治会自慢
待望の堀口公園が完成
堀口自治会

昨年8月から市と子どもを含めた自治会代表者や各種団体などで、公園の概略の協議が進められました。

用地確保のための地権者交渉は、市と協議しながら、自治会の責任で進めました。また、遊具は地域の子どもたちが選定。樹齢400年の山桜を残し、地域の意向に即した特色ある公園が完成しました。芝張り作業は、地域住民が行い、今後の除草作業なども、地域で行います。

すべて行政に依存するのではなく、地域ができることは、自分たちの力で。



いつでも公園には子どもたちが

役員視察研修会
二中学区地域の輪をつくる会

9月4日(水)～5日(木)の2日間の日程で、役員視察研修会を新潟市で実施いたしました。

高齢者ごみ出し支援事業や超高齢地域支えあい事業制度について、市や地区コミュニティ協議会より説明を受けました。特に中学生ボランティアや通学途中や通学途中を利用したごみ出し支援、雪国特有の雪かき支援など、興味深い内容でとても有意義な研修会となりました。



役員視察研修会参加者一同

編集後記

大型で猛烈な台風19号が上陸し、日本列島を縦断しました。結果、甚大な被害が発生し、二中学区でも枝川地区で那珂川支流の氾濫により浸水の被害が出ました。このため秋季大運動会も中止となり、運動会を中心に編集を考えていました今回号は、急遽再編集を余儀なくされました。『記録的豪雨・日本の観測史上最大・未だかつて経験したことのないような』と最大級の形容詞でこの台風を表現されていますが、いよいよ温暖化の『ツケ』が回ってきたかと実感しています。

今回を見ますと、海水温は上昇し、気圧は極度に低下、瞬間風速60mを記録しています。これは新幹線の上にいる状態だと言います。益々エスカレートする台風の勢力、次はと考えると身震いする思いです。皆様も自分の身は自分で守る意識を常にお持ち下さい。

編集後記

案内板

- ◆第36回津田コミセンまつり
主催 津田コミュニティセンター
期日 12月1日(日)
場所 津田コミュニティセンター
- ◆第36回枝川ふれあいまつり
主催 枝川自治会
期日 12月1日(日)
場所 枝川転作センター
- ◆輪投げ大会
主催 勝田本町自治会
期日 12月7日(土)
場所 勝田本町会館
- ◆子どもふれあい館クリスマス会
主催 子どもふれあい館
期日 12月14日(土)
場所 子どもふれあい館
- ◆ふくわの集い(音楽芸能発表会)
主催 二中学区地域の輪をつくる会
期日 2月2日(日)
場所 市毛コミュニティセンター